

# 「社会的インパクト評価イニシアチブ」の設立について

<http://www.impactmeasurement.jp/>

## ・社会的インパクト評価イニシアチブとは

世界に類を見ない急速な人口減少・高齢化が進展する中、社会的課題がますます多様化・複雑化し、従来の行政中心の取組だけでは対応に限界があるといえます。そこで、それら社会的課題解決の担い手であるNPOやソーシャルビジネスが、自らの生み出す「社会的インパクト」を可視化し、社会から評価されることで、人材、資金などの資源を呼び込み、成長することができる環境を整える必要があります。しかし、日本の現状は、社会的インパクト評価の実践はごく一部の団体にとどまり、それらを推進する仕組みや機運も不足しています。

日本において「社会的インパクト評価」を普及させるために、社会的インパクト評価の現状や課題、将来の目指すべき姿やそれに向けた取組などについて議論し、実行を主導するプラットフォームとして「社会的インパクト評価イニシアチブ」が設立されました。

本イニシアチブは、民間事業者、シンクタンク、中間支援組織、資金提供者、学者、行政などが連携して運営することで、日本全体として「社会的インパクト評価」を普及させるための機運を高めます。

注) 英国では、ここ5年程度で社会的インパクト評価が急速に普及しつつありますが、この背景の1つとして、2011年9月に開催された「インパクト・サミット」と、それを契機に結成された「Inspiring Impact Project」があります。同プロジェクトは、NPCが事務局となり、数多くの民間団体が参加し、社会的インパクト評価の普及に向けた課題や目標等を共有し、様々なプロジェクトを共同で推進しています。

## ・2016年度主な活動

- ① 社会的インパクト評価に関するシンポジウムの開催「Social Impact Day 2016」(6月14日)
- ③ 評価ツールや情報を集約するリソースセンター(Webサイトベータ版)公開
- ④ 社会的インパクト評価推進のためのロードマップの作成と推進
- ⑤ 日本語による「変化の理論」や「ロジック・モデル」等の基本ツールの手引書の整備
- ⑥ 評価ツールや情報を集約するリソースセンター(Webサイト)の運営
- ⑦ 評価事例(ベスト・プラクティス)の蓄積とピア・レビューの実施による知識の共有化

## ・2016年度スケジュール

- 8月5日: イニシアチブ会合(第1回)
- 9月12日: イニシアチブ会合(第2回)
- 9月30日: ロードマップ案の発表
- 2017年3月: イニシアチブ会合(第3回)

\*シンポジウム「Social Impact Day 2016」基調講演: 「社会的インパクト評価 世界の潮流」 NPC (New Philanthropy Capital) Tris Lumley氏



### ■ 問い合わせ先

社会的インパクト評価イニシアチブ共同事務局

[info@impactmeasurement.jp](mailto:info@impactmeasurement.jp)

共同事務局メンバー:

G8社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会、日本財団、日本ファンドレイジング協会、SROIネットワークジャパン、内閣府

**SIMI**

社会的インパクト評価イニシアチブ

Social Impact Measurement Initiative

6月14日キックオフシンポジウム開催（300名超参加）

## Social Impact Day 2016

### - いよいよ動き出す社会的インパクト評価の未来 -

- 社会的インパクト評価の「価値」を語る
  - 社会的インパクト評価を推進する「仕組み」を考える
- ※G8インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会による「評価ツールセット」の発表

<http://www.socialimpactday2016.com/>



### 社会的インパクト評価推進のためのプロジェクト

- ・ロードマッププロジェクト
- ・評価ツール作成プロジェクト
- ・リソースセンターの運営
- ・評価事例づくり
- ・インパクト志向の助成財団評価人材育成事業

### 社会的インパクト評価イニシアチブ設立

6月2日 準備会合

8月5日 第一回全体会合

9月12日 第二回全体会合

- 年間事業計画、ロードマップ意見交換
- 各プロジェクト進捗報告と意見交換



### イニシアチブ・メンバー

(※9月12日時点。76団体(うち賛同19))

#### 事業者

(公社) Chance for Children、NPO法人Homedoor、NPO法人アカツキ、NPO法人エイズ孤児支援  
NGO・PLAS、NPO法人クロスフィールズ、認定NPO法人育て上げネット、NPO法人ハンガー・フ  
リー・ワールド、NPO法人マドレボニータ

(株)公文教育研究会、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、新日本有限責任監査法人、デロイトトーマ  
ツコンサルティング合同会社、日本アイ・ビー・エム(株)、(株)日本総合研究所、日本電気(株)、(株)ファン  
ドレックス、(株)フラウ、マカイラ(株)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)、三菱商事(株)

ARUN合同会社、(一財) KIBOW、(公財) あいちコミュニティ財団、(公財) 大阪コミュニティ  
財団、コミュニティ・ユースバンク・momo、(公財) 佐賀未来創造基金、(一社) 全国コミュニ  
ティ財団協会、(一社) ソーシャル・インベスト・パートナーズ、NPO法人ソーシャルベンチャー・  
パートナーズ東京、(公財) 地域創造基金さなぶり、(公財) トヨタ財団、(公財) 日本財団、(公  
財) パブリックリソース財団、NPO法人CANPANセンター

#### 内閣府

G8インパクト投資タスクフォース日本国内諮問委員会、NPO法人NPOサポートセンター、(株)  
Publico、(一社) RCF、NPO法人大阪NPOセンター、NPO法人関西国際交流団体協議会、ケイス  
リー(株)、NPO法人市民フォーラム21・NPOセンター、新公益連盟、NPO法人日本NPOセンター、  
(一社) ソーシャル・ファイナンス支援センター、(公社) 日本サードセクター経営者協会、NPO法  
人日本ファンドレイジング協会、(公社) 日本フィランソロピー協会、福岡地域戦略推進協議会

NPO法人SROIネットワークジャパン、(株)公共経営・社会戦略研究所、津富 宏(静岡県立大学)、  
NPO法人日本評価学会、(一財) 非営利組織評価センター、粉川 一郎(武蔵大学)

#### 資金提供者 仲介者

#### 中間支援組織 シンクタンク

#### 評価者 研究者等

※賛同メンバーは以下の通り。(株)PHP研究所、PwCあらた有限責任監査法人、(株)クレアン、(株)電通、高島市、  
(公財) 助成財団センター、(株)日本政策金融公庫、(公財) 公益法人協会。部署として東京フットボールクラブ  
(株)(FC東京)、メットライフ生命保険(株)、経済産業省、国土交通省、埼玉県、横浜市、(独) 国際協力機構より  
参加。個人として、厚生労働省、(公財) 笹川平和財団、文部科学省より参加。